



わかみどり

<http://hirabayashi-e.murakami.ed.jp>



幸せになるために

平林小学校 校長 遠藤 直人

「子どもたちに幸せになってほしい」この思いは職員も保護者も地域の方も誰もが同意できることだと思います。どの学校でも教育の最上位の目標かもしれません。

科学的な研究や心理学の知見をもとに、「幸せ」を感じるためには重要な4つの因子があるといわれています。これらの因子を日常生活に取り入れることで、幸福感を高めることができるとされています。4月から子どもたちには、全校集会や始業式・終業式をとおして、この4つの因子に関するお話しをしてきました。

幸せの4つの因子

1 やってみよう因子（挑戦や成長）

新しいことに挑戦する、スキルを磨く、自己成長を感じることがこの因子に当たります。

『やってみよう！ファーストペンギンの話』

みんな、「ファーストペンギン」って知ってる？ペンギンが海に飛び込むとき、一番最初に飛び込む勇気あるペンギンを「ファーストペンギン」って呼ぶんだ。最初はちょっと怖いかもしれないけど、誰かが最初に飛び込むと、他のペンギンも安心して飛び込めるんだよ。「ファーストペンギン」になってみよう。



2 ありがとう因子（つながりや感謝）

他者とのつながりを感じたり、感謝の気持ちを持つことが重要です。人との良好な関係や共感が幸福感を高めます。

『ありがとう！友達のいいところを伝えよう』

「ありがとう」と言うと、言われた人も言った自分も心がポカポカするんだ。たとえば、友達のいいところを見つけて伝えるのも「ありがとう」に似た魔法だよ。



3 なんとかなる因子（前向きな思考や楽観性）

困難な状況でも「なんとかなる」と思える楽観的な姿勢や、自分の将来への自信がこの因子に関係します。

『なんとかなる！壺の石の話』

まず大きな石を先に入れると、隙間に小さい石や砂を入れることができる。でも、先に小さい石や砂ばかり入れると、大きな石が入らなくなっちゃうんだ。これは、「大事なことを先にやると、それ以外はなんとかなる！」という話なんだよ。



4 あなたらしく因子（自分らしさや自己表現）

自分らしさを大切にし、自分にしかできないことや価値観を追求することが、この因子に含まれます。

『自分らしく！脳の話と三日坊主』

実は、脳は変化を嫌うけど、とてもだまされやすいんだよ。たとえば、「自分にはできないかも…」と思っていると、脳が「そうだね、無理だよ」って思っちゃう。でも、少しずつでも続けていくと、脳は「できるかも！」ってだまされるんだ。だから、自分が好きなことや得意なことを目標を決めてどんどんやってみよう！



コンクール入賞者

コンクール・発表会において、下記のように素晴らしい成績を収めました。
入賞を果たしたみなさん、おめでとうございます。



村上市人権標語コンテスト 小学生の部

優秀賞 5年 さん 「差別の芽 かくれているよ 自分にも」

神林地区科学研究発表会

3年 さん 「白い花が色づくまほう」
5年 さん 「鶏の謎に迫る!!」
5年 さん 「『カビ』の研究」 ⇒ 郡市児童生徒価格研究発表会へ推薦

第60回 村上市岩船郡児童生徒科学研究発表会

入賞 5年 さん 「『カビ』の研究」～「カビが生えやすい食べ物や条件」
と「カビを防ぐ効果のあるもの」について～
※県科学研究発表会へ推薦

2024 環境フェスタ俳句・川柳コンテスト

金賞 6年 さん 「人間を 守って見つめる 自然界」

平小フェスティバル

縦割り班で、子どもたちが、それぞれの役割を果たして協力し合うことにより社会性を養うことをねらい、11月14日に「平小フェスティバル」を行いました。10月から、6年生のリードの中、子どもたちは、全校のみんなを楽しませるお店を考え、準備を進めてきました。当日は、各縦割り班を前半と後半でお店の運営を交代し、運営しない方の子どもたちが他の班のお店を回りました。一生懸命な姿、楽しそうな笑顔が溢れる行事となりました。

保育園の年長さんや保護者の方からも参加いただき、満足げに活動する平小っ子でした。



箱の中身は？



出店の王道 射的



一体どこ？ 宝さがし